

ユーザーマニュアル



U32U3CV MONITOR

AOC.COM

©2024 AOC. All rights reserved
Version: A00

AOC

安全	1
表示区分	1
電源	2
設置	3
お手入れ	4
その他	5
セットアップ	6
同梱されているもの	6
スタンドとベースの取付け	7
画面の角度調節	8
モニターを接続する	9
壁取り付け	10
Adaptive-Sync (適応同期) 機能	11
KVM	12
HDR	13
Calman Ready	14
調整する	17
ホットキー	17
OSD 設定	18
Preset Mode(プリセットモード)	19
Picture(画像)	20
Input (入力)	23
PIP/PBP	24
Settings(設定)	25
OSD Setup (OSD 設定)	27
Information(情報)	28
LED インジケータ	29
トラブルシューティング	30
仕様	32
一般仕様	32
プリセットディスプレイモード	34
ピン割り当て	35
プラグアンドプレイ	36

安全

表示区分

ここでは、本書で用いられる表記の規則について説明します。

メモ、注意、警告

本書を通じて、一部の文が記号を伴い、太字あるいは斜体の文字で表示されています。これらの文章はメモ、注意、あるいは警告であり、次のように使用されます：



メモ：「メモ」は、ご使用のコンピュータシステムの使用に役立つ重要な情報を示しています。



注意：「注意」は機器への破損あるいはデータ損失の危険性を示し、これを防ぐ方法について説明しています。



警告：「警告」は身体への危険性を示し、これを防ぐ方法について説明しています。一部の警告表示はこれら以外の形式で表記され、記号が伴わない場合もあります。そのような場合は、特定の表記による警告表示が監督当局により義務付けられています。

電源

 モニターは、ラベルに示されている電源のタイプからのみ操作する必要があります。家庭に供給されている電源のタイプが分からない場合、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。

 モニターには三叉のアース用プラグ（3番目（アース用）ピンが付いたプラグ）が付属しています。このプラグは、安全機能としてアースされたコンセントにのみ適合します。コンセントが三芯プラグに対応していない場合、電気技術者に正しいコンセントを設置してもらるか、アダプタを使用して装置を安全にアースしてください。アースされたプラグの安全性を無効にしないでください。

 雷が鳴っているときや、長期間使用しない場合は、プラグを抜いてください。これで、サージ電流による損傷からモニターが保護されます。

 電線と延長コードに過負荷をかけないでください。過負荷をかけると、火災や感電の恐れがあります。

 満足のゆく操作性を確保するために、モニターはUL認証済みで100-240V AC、最小5Aの間の表示を持つ適切に設定されたレセプタクルを搭載したコンピュータでのみ使用してください。

 装置はコンセントのそばに取り付け、すぐに電源プラグを抜けるようにしてください。

設置

! モニターを不安定なカート、スタンド、三脚、ブラケット、あるいはテーブルの上に設置しないでください。モニターが落下した場合、人体の負傷を招く恐れがあり、また製品に重大な破損を与えることがあります。製造元推奨あるいは当製品と併せて販売されているカート、スタンド、三脚、ブラケット、あるいはテーブルにてご使用ください。製品の設置の際は製造元による使用説明に従い、製造元推奨のマウントアクセサリをご使用ください。カートに製品を乗せている場合、移動の際には特にご注意ください。

! モニターキャビネットのスロットに異物を差し込むことはおやめください。回路部品を破損し、火災あるいは感電を引き起こす恐れがあります。モニターに液体をこぼさないようにしてください。

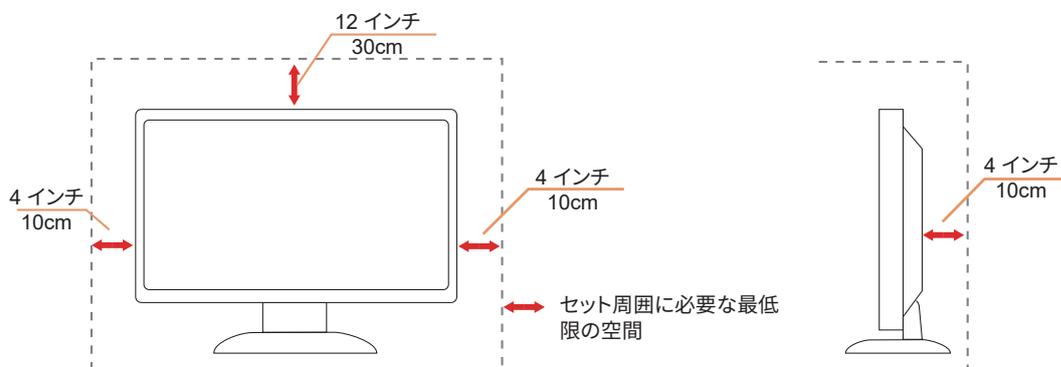
! 製品の液晶部分を床面に置かないでください。

! モニターを壁や棚に取り付ける場合、メーカーが推奨するマウントキットを使用し、キットの指示に従ってください。

! モニター周囲には、下図のように空間を残してください。空間がない場合、通気が悪化し、火災あるいはモニターの損傷につながる場合があります。

! パネルがベゼルから外れるなどの損傷を防止するため、ディスプレイを -5 度以上下向きに傾けないようにしてください。-5 度下向き傾き最大角度を超え、ディスプレイが損傷した場合、保証の対象外となります。

モニターを壁またはスタンド上に取り付ける場合は、下記のモニター周辺の推奨換気エリアを参照してください：



お手入れ

! キャビネットは常時柔らかい布で掃除してください。強い洗剤を使用すると製品キャビネットが焼灼することがあります。薄めた洗剤を使用して汚れを拭き取ってください。

! 掃除の際は、製品の内部に洗剤が入らないようご注意ください。画面表面に傷をつけないよう、清掃用布は柔らかいものを使用してください。



! 製品を洗浄する前に、電源コードを抜いてください。

その他

 製品から異臭、雑音、煙が発生した場合は、すぐに電源を抜き、サービスセンターまでご連絡ください。

 通気口がテーブルやカーテンなどで遮断されていないことをお確かめください。

 液晶モニターの動作中は、激しい振動や、強い衝撃を与えないでください。

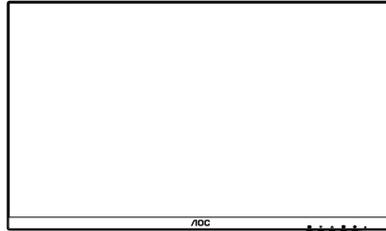
 モニターの操作中あるいは運搬中に、モニターを叩いたり落としたりしないでください。

 電源コードは安全規格に準拠する必要があります。ドイツ向けは H03VV-F/H05VV-F、3G、0.75 mm² 以上が求められます。その他では、各国に合わせて、適切なタイプを使用してください。

 イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、難聴を引き起こす可能性があります。イコライザーを最大に調整すると、イヤホンとヘッドホンの出力電圧が上がり、したがって音圧レベルが上がります。

セットアップ

同梱されているもの



モニター

*



OSD機能説明書

*



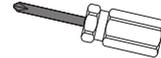
製品保証書



スタンド



ベース



らせんまわし



電源ケーブル

*



HDMIケーススタンド

*



DPケーブル

*



USB C-C
ケーブル

*



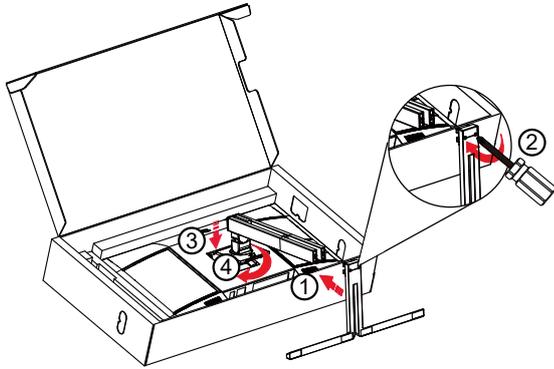
USB C-C/A
ケーブル

*すべての信号ケーブルがすべての国や地域向けに提供されているとは限りません。最寄りの販売店またはAOC支店にお尋ねください。

スタンドとベースの取付け

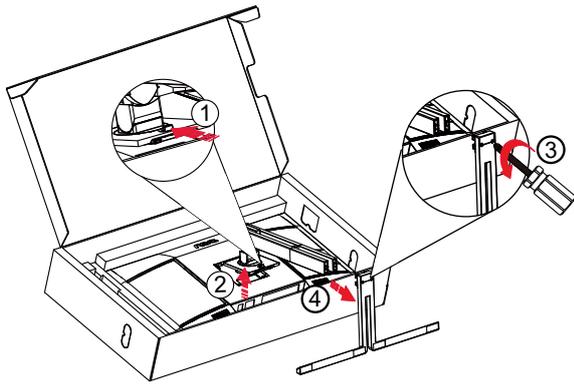
次の手順に従って、ベースの取り付けおよび取り外しを行ってください。

取り付け：



注：スタンドをベースの位置決め穴に合わせます。スタンドとベースを隙間なく保持し、サポートを外す前に底部の2本のネジをロックして、落下を防止します。

取り外し：



ベースネジの仕様：
M5*21mm（有効ネジ5.5mm）



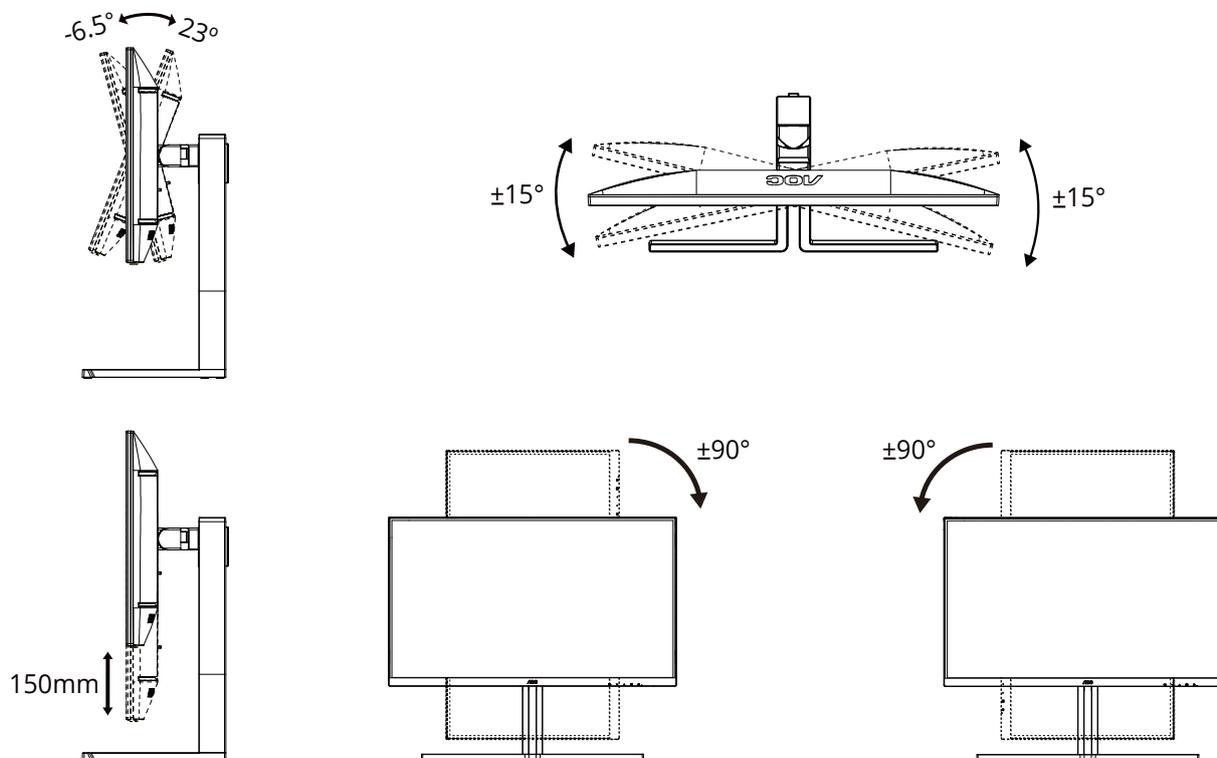
メモ：ディスプレイのデザインは、これらの図とは異なる場合があります。

画面の角度調節

最高の視聴体験を実現するために、ユーザーが画面上で顔全体を見ることができることを確認してから、個人の好みに基づいてモニターの角度を調整することをお勧めします。

モニターの角度を変える際は、モニターの転倒を防ぐため、スタンド部分を押さえながら行ってください。

モニタは下のよう調整できます。



メモ :

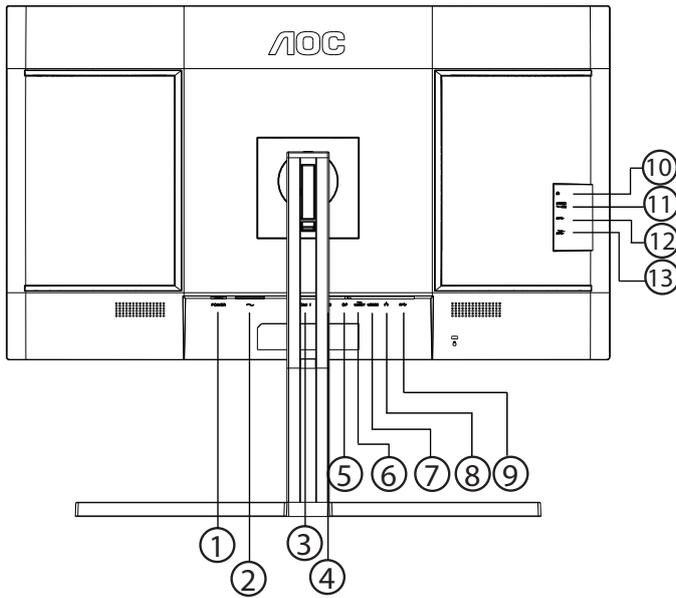
* 角度、向きを調節する場合は、手で液晶パネルを押さえないでください。液晶パネル損傷の原因となります。

警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを -5 度以上上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。

モニターを接続する

モニターとコンピュータの背面へのケーブル接続：



1. 電源スイッチ
2. 電源
3. HDMI 1
4. HDMI 2
5. DisplayPort
6. USB C1 (ビデオ、PD 96W)
7. USB C2 (アップストリーム、データのみ)
8. RJ45
9. USB3.2 Gen2 ダウンストリーム
10. Earphone(イヤホン)
11. USB C (側面) : 最大 15W の電源
12. USB3.2 Gen2 ダウンストリーム
13. USB3.2 Gen2 ダウンストリーム + 充電

PC に接続する

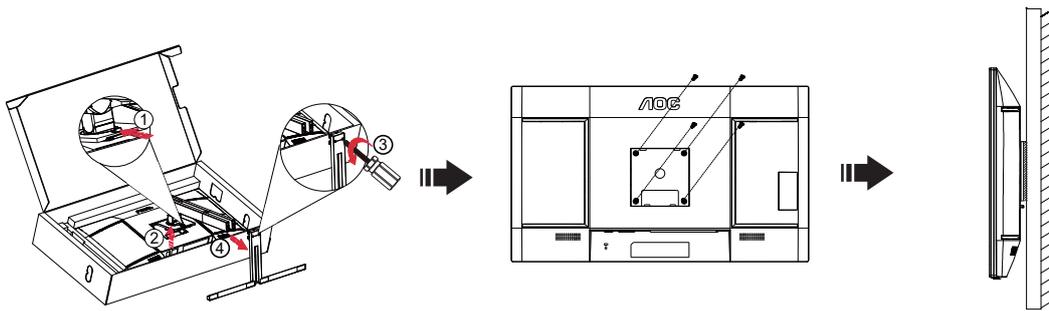
1. 電源コードをディスプレイ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとディスプレイの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとディスプレイの電源をオンにします。

モニターに画像が表示されたら、取り付けは完了です。画像が表示されない場合、トラブルシューティングを参照してください。

機器を保護するため、接続する前に必ず PC および液晶モニターの電源を切ってください。

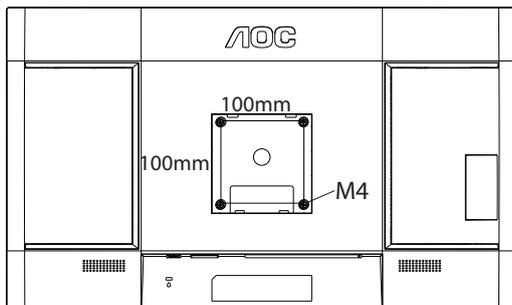
壁取り付け

オプションの壁取り付けアームの準備をします。

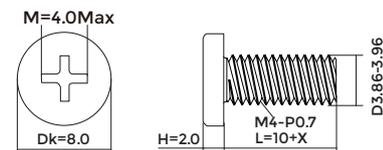


本モニターは、別売りの壁面取り付けアームに据え付けることができます。準備をする前に、電源を切断します。次の手順に従います：

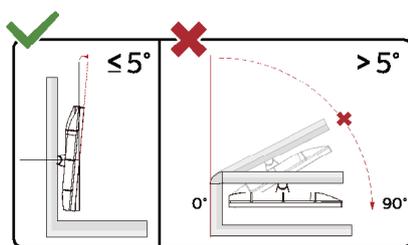
1. ベースを取り外します。
2. 製造元の指示に従って、壁面取り付け用アームを組み立てます。
3. 壁面取り付け用アームをモニターの背面に置きます。アームの穴をモニターの背面にある穴と揃えます。
4. 4本のネジを穴に差し込んで締めます。
5. ケーブルを取り付け直します。オプションの壁面取り付け用アームに付属しているユーザーマニュアルにある指示に従って、アームを壁に取り付けます。



壁掛けハンガーのネジ仕様：
M4*(10+X)mm (X= 壁掛けブラケットの厚み)



 注記：機種によっては、VESA 規格の取り付け用ネジ穴がないことがあります。壁掛け設置時は必ず製造元にご相談ください。



* ディスプレイのデザインは、これらの図とは異なる場合があります。

⚠ 警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。ベゼルのみを持つようにしてください。

Adaptive-Sync（適応同期）機能

1. Adaptive-Sync（適応同期）機能は DP / HDMI / USB C で利用できます。
2. 互換性のあるグラフィックスカード：推奨リストは以下のとおりです。また、こちらでも確認できます：
www.AMD.com

グラフィックスカード

- Radeon™ RX Vega series
- Radeon™ RX 500 series
- Radeon™ RX 400 series
- Radeon™ R9/R7 300 series（R9 370/X、R7 370/X、R7 265 を除く）
- Radeon™ Pro Duo (2016)
- Radeon™ R9 Nano series
- Radeon™ R9 Fury series
- Radeon™ R9/R7 200 series（R9 270/X、R9 280/X を除く）

プロセッサ

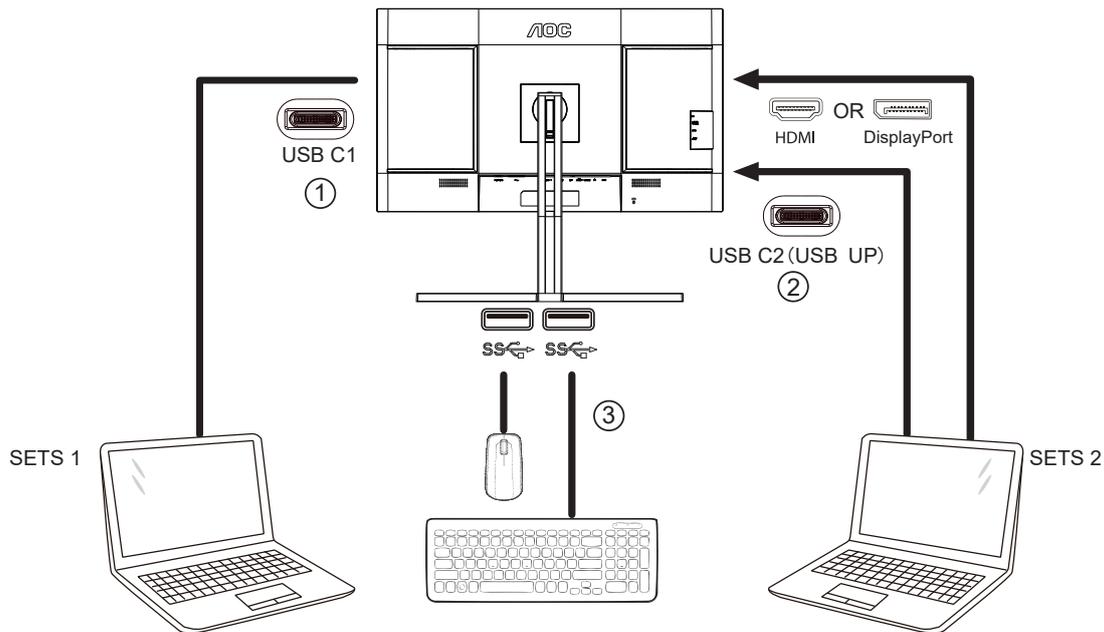
- AMD Ryzen™ 7 2700U
- AMD Ryzen™ 5 2500U
- AMD Ryzen™ 5 2400G
- AMD Ryzen™ 3 2300U
- AMD Ryzen™ 3 2200G
- AMD PRO A12-9800
- AMD PRO A12-9800E
- AMD PRO A10-9700
- AMD PRO A10-9700E
- AMD PRO A8-9600
- AMD PRO A6-9500
- AMD PRO A6-9500E
- AMD PRO A12-8870
- AMD PRO A12-8870E
- AMD PRO A10-8770
- AMD PRO A10-8770E
- AMD PRO A10-8750B
- AMD PRO A8-8650B
- AMD PRO A6-8570
- AMD PRO A6-8570E
- AMD PRO A4-8350B
- AMD A10-7890K
- AMD A10-7870K
- AMD A10-7850K
- AMD A10-7800
- AMD A10-7700K
- AMD A8-7670K
- AMD A8-7650K
- AMD A8-7600
- AMD A6-7400K

KVM

ディスプレイがオンの状態では、KVM機能を通じて設定されたキーボードとマウスを使用して、2台の信号出力デバイス(2台のコンピューター、2台のノートパソコン、または1台のコンピューターと1台のノートパソコン)を制御できます。

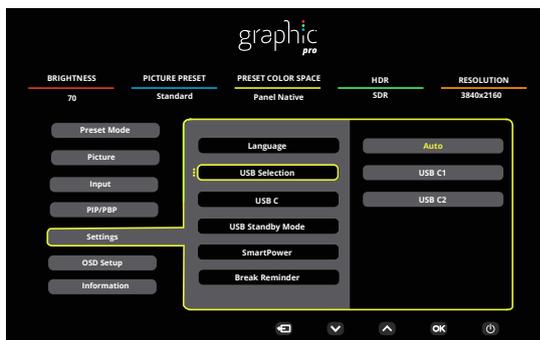
セットアップ手順:

- 1.USB C-USB Cケーブルを使用して、USB C1コネクタを介してモニターを最初のデバイス(コンピューターまたはノートパソコン)に接続します。
2. HDMIまたはDisplayPort(入力)コネクタを介してモニターを2番目のデバイス(コンピューターまたはノートパソコン)に接続し、USB C-USB Aケーブルを使用してモニターのUSB C2をデバイスのUSBコネクタに接続します。
- 3.周辺機器(キーボードとマウス)をモニターのUSB A(USBダウンストリーム)コネクタに接続します。



4.OSDメニューに移動します。必要に応じて、「設定」->「USB選択」でそれぞれ自動、USB C1、またはUSB C2を設定します。

自動的に設定すると、モニターに接続されたキーボードとマウスは、表示される信号ソースに応じて制御対象デバイスを自動的に切り替えます。



USB Selection (USB選択)	機能の説明
Auto	現在画面に表示されている信号ソースに応じて、USB C1またはUSB C2 (USBアップストリーム)を自動的に選択します。
USB C1	USBアップストリームパスは、USB C-USB Cケーブルを通じて提供されます。
USB C2	USBアップストリームパスは、USB C-USB Aケーブルを通じて提供されます。

注：PIP/PBP表示モードでは、OSDメニューからUSBアップストリームパスを切り替えてください。

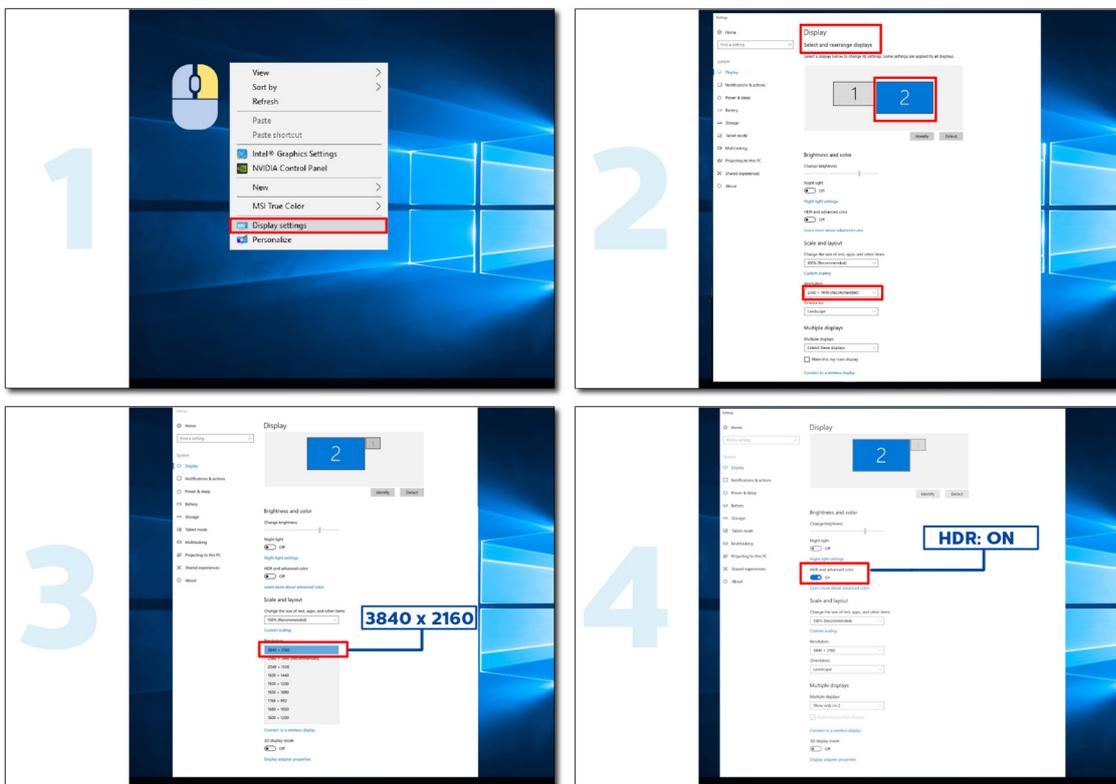
HDR

HDR10 形式の入力信号と互換性があります。

プレーヤーとコンテンツに互換性がある場合、ディスプレイは HDR 機能を自動的に有効にすることがあります。お使いのデバイスとコンテンツの互換性については、デバイスのメーカーとコンテンツのプロバイダーにお問い合わせください。自動有効化機能が不要であれば、HDR 機能に「オフ」を選択してください。

注記：

1. V1703 以前のバージョンの WIN10 については、DisplayPort/HDMI には特別な設定が必要ありません。
2. HDMI インターフェイスのみ利用できます。WIN10 バージョン V1703 の場合、DisplayPort インターフェイスは機能しません。HDMI インターフェイスのみ利用できます。WIN10 バージョン V1703 の場合、DisplayPort インターフェイスは機能しません。
3. 表示設定：
 - a. ディスプレイの解像度は 3840*2160 に設定されています。HDR はオンにプリセットされています。
 - b. アプリケーションに入った後、解像度を 3840*2160 に変更すると（可能であれば）、最良の HDR 効果を得ることができます。



Calman Ready



Calman Ready ディスプレイおよびデバイスには、Portrait Displays の Calman® カラー キャリブレーション ソフトウェアと直接通信する機能が備わっています。Calman Ready 対応デバイスは、ソフトウェアにすばやく接続し、その正確で自動的なキャリブレーション機能 (AutoCal™) を活用できます。Calman Ready を使用すると、最新の AOC ディスプレイで簡単かつ正確で迅速なキャリブレーションが可能になります。

Calman Ready を有効にする方法は？

Calman の必要なバージョン：

Calman (Ultimate または Studio) バージョン 5.15.5.19 以降

必要なハードウェア

Calman 互換パターン ジェネレーター

* HDR キャリブレーションには外部 HDR 対応ジェネレーターが必要です

Calman 互換メーター

詳細については、次を参照してください：[Calman 互換メーター](#)

次の QR コードをスキャンすると、**AOC モニター キャリブレーション ワークフロー ガイド**が開き、互換性のある AOC Calman Ready モニターのキャリブレーション手順が表示されます：



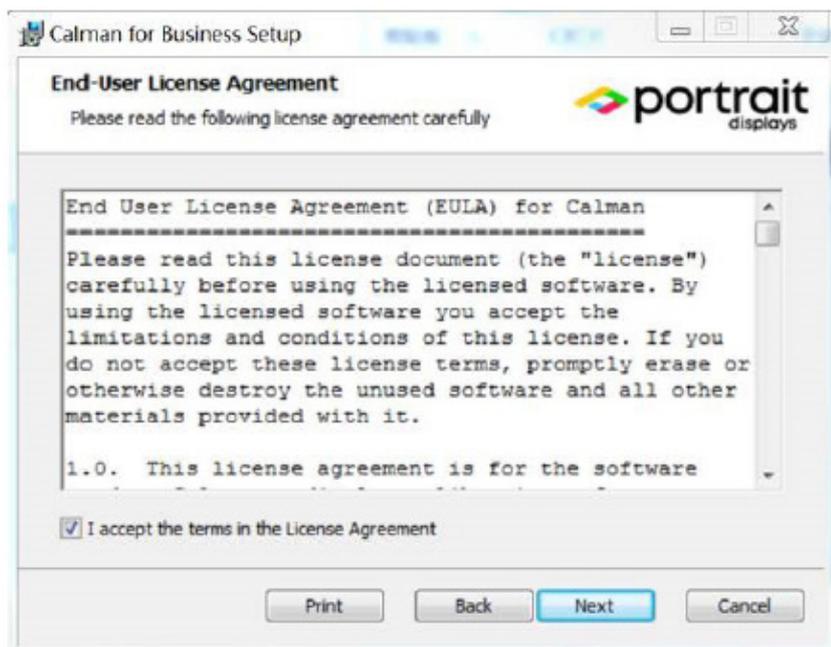
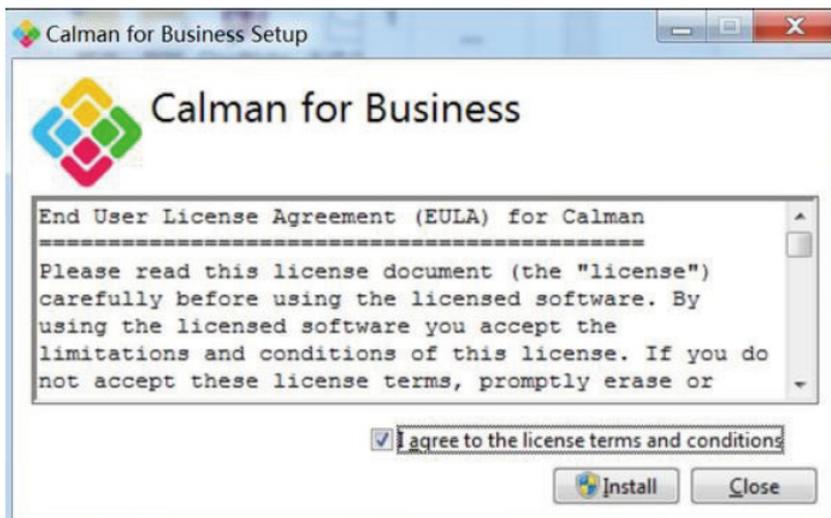
注：

キャリブレーションが完了すると、キャリブレーションはモニターの OSD の「画像」 → 「CMR カラー スペース」に保存されます。

[注：ほとんどの Calman ユーザーは以下の手順に精通しているので、マニュアルのオプションとしてこれを検討することをお勧めします]

ステップ 1:

Calman ソフトウェアをインストールします。



ステップ 2:

ライセンス ID とライセンス パスワードを入力し、[オンラインでアクティブ化] ボタンをクリックして Calman ライセンスをアクティブ化します。



ステップ 3:

1. ノートパソコンをモニターの USB-C (下部) に接続します。
2. カラーメーターをノートパソコンに接続します。
3. Calman を開き、次の QR コードをスキャンして、互換性のある AOC Calman Ready モニターのキャリブレーション手順が記載された **AOC モニター キャリブレーション ウォークスルー ガイド**を開きます：

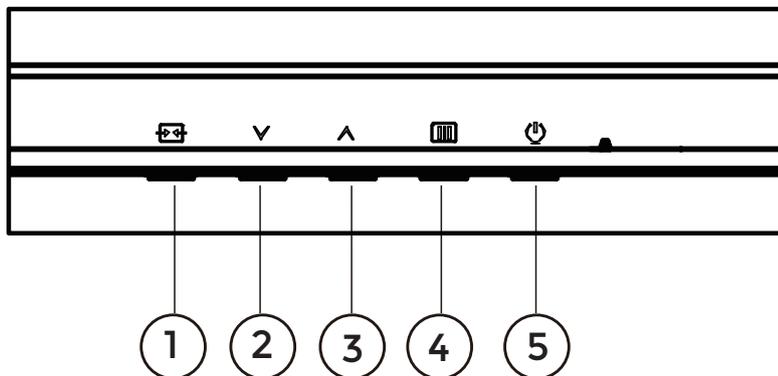


注:

キャリブレーションが完了すると、キャリブレーションはモニターの OSD の「画像」 → 「CMR カラー スペース」に保存されます。

調整する

ホットキー



1	ソース / 終了
2	プリセットモード / HDR
3	明るさ
4	メニュー / ENTER
5	電源

電源

電源ボタンを押してモニターをオンにします。

メニュー / ENTER

OSD が表示されていない時は、OSD を表示するか、選択を確定する時にこのボタンを押します。

明るさ

OSD が表示されていない場合は、「^」キーを押して明るさ機能を開き、「^」または「v」キーを押してバックライトを調整します。

プリセットモード / HDR

OSD が表示されない場合は、「v」キーを押してプリセットモード機能を開き、「v」または「^」キーを押して別のモードを選択します。

HDR 信号を受信しながら、使用要件に応じて HDR プロファイルを設定します。

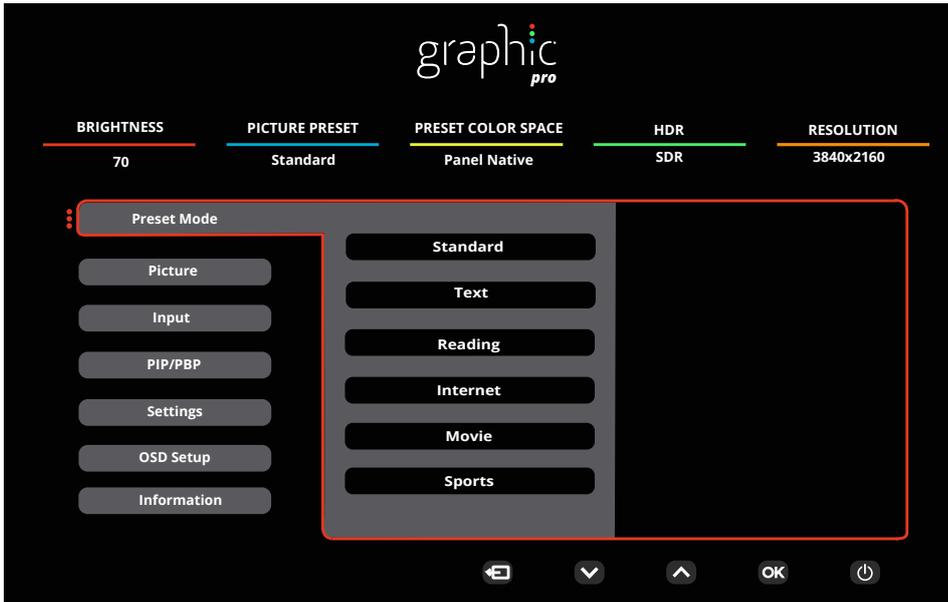
ソース / 終了

OSD が閉じている時、ソース / 終了ボタンを押して、ソースホットキー機能にします。

OSD メニューがアクティブな場合、このボタンは終了キーとして機能します (OSD メニューを終了します)。

OSD 設定

コントロールキーの基本的でシンプルな説明です。

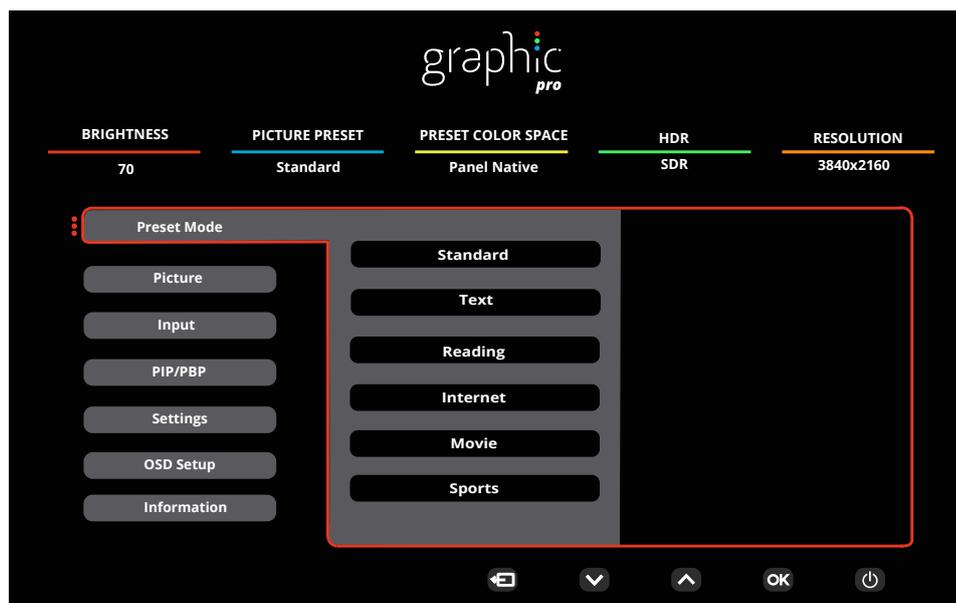


- 1). メニューボタンを押して OSD ウィンドウを有効にします。
- 2). \downarrow または \uparrow を押して機能をナビゲートします。必要な機能がハイライトされたら、 / OK メニューボタンを押して有効にします。 \downarrow または \uparrow を押してサブメニュー機能をナビゲートします。必要な機能がハイライトされたら、 / OK メニューボタンを押して有効にします。
- 3). \downarrow または \uparrow を押して、選択した機能の設定を変更します。 / 終了ボタンを押して終了します。他の機能を調整する場合、手順 2-3 を繰り返します。
- 4). OSD ロック機能：OSD をロックするには、モニターがオフになっている間に メニューボタンし続けて 電源ボタンを押してモニターをオンにします。OSD をロック解除するには、モニターがオフになっている間に メニューボタンを押し続けて 電源ボタンを押してモニターをオンにします。

メモ：

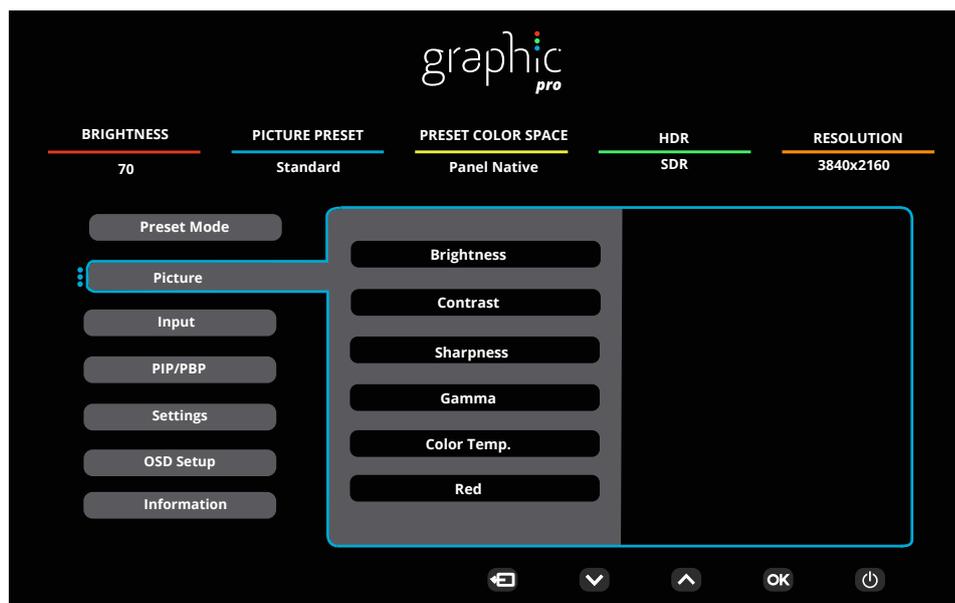
- 1). 製品に 1 つしか信号入力がない場合、「入力選択」項目は無効になります。
- 2). 入力信号の解像度が Adaptive-Sync またはネイティブ解像度の場合、「画像比」の項目は無効になります。

Preset Mode(プリセットモード)



Preset Mode (プリセットモード)	Standard (スタンダード)	スタンダードモード。
	Text (テキスト)	テキストモード。
	Reading (読書)	読書モード。
	Internet (インターネット)	インターネットモード。
	Movie (映画)	映画モード。
	Sports (スポーツ)	スポーツモード。
	Photographer	撮影者モード
	HDR Picture (HDR 写真)	HDR シミュレーション画像モード
	HDR Movie (HDR 映画)	HDR シミュレーションムービーモード
	HDR Game (HDR ゲーム)	HDR シミュレーションゲームモード
	FPS	FPS (一人称シューティング) ゲーム用です。暗い画面で黒レベルのディテールを改善します。
	RTS	RTS (リアルタイム戦略) 用です。画質を上げます。
	Racing (レーシング)	レーシングゲーム用です。応答時間と彩度を最高度まで。
	D-Mode	D-Mode モード
	Uniformity	Uniformity モード
	Reset color	はい/いいえ 注：色設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。
	HDR	Off (オフ)
DisplayHDR		
HDR Picture (HDR 写真)		
HDR Movie (HDR 映画)		
HDR Game (HDR ゲーム)		

Picture(画像)



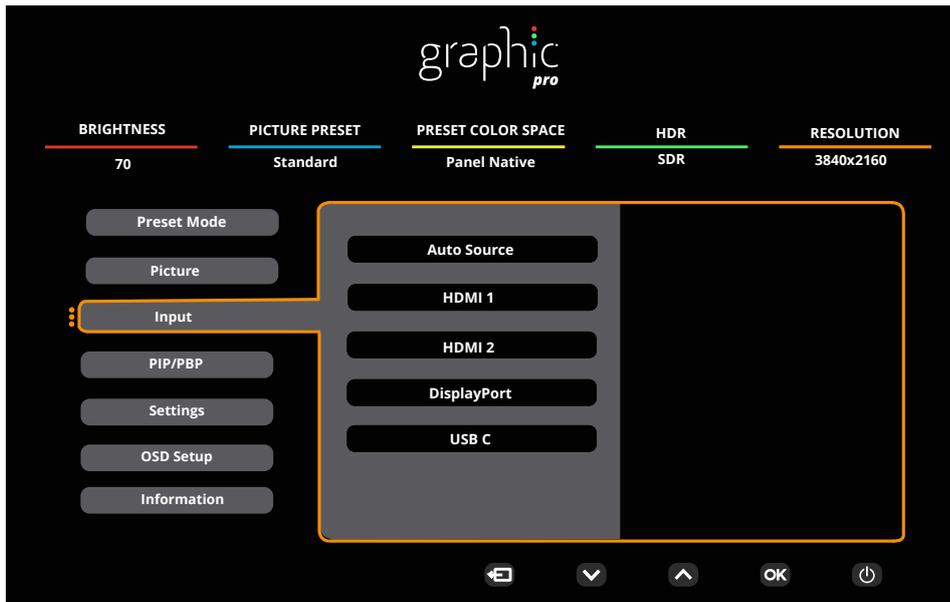
Brightness (明るさ)	0-100	Backlight Adjustment. 画面の明るさを調整します。
Contrast (コントラスト)	0-100	Contrast from Digital-register. 画面のコントラストを調整します。
Sharpness (鮮明度)	0-100	調整鮮明度。
Gamma (ガンマ)	1.8 / 2.0 / 2.2 / 2.4 / 2.6	ガンマを調整します。
Color Temp. (色温度)	Native / 5000K / 6500K 7500K / 8200K / 9300K 11500K / User define	色温度の調整 注：「ユーザー定義」を選択して RGB カラーを調整します。
Red(赤)	0-100	赤色温度微調整。
Green(緑)	0-100	緑色温度微調整。
Blue(青)	0-100	青色温度微調整。
Saturation(彩度)	R / G / B / C / M / Y	調整範囲 0 ~ 100。
Hue(色合い)	R / G / B / C / M / Y	調整範囲 0 ~ 100。

Color Space (色空間)	Panel Native	調整 色空間 .
	sRGB	
	Display-P3	
	DCI-P3	
	DCI-P3 (D50)	
	Adobe RGB	
	Adobe RGB (D50)	
	Rec. 2020	
	Rec. 709	
CMR Color Space (CMR 色空間)	sRGB	CMR 色空間を調整します。 注: この機能は、Portrait が開発した Calman ツール (PC ソフトウェア) を使用してマシンの色空間を調整した後にのみオプションになります。 この製品は、Calman カラーキャリブレーションソフトウェアを使用してカラーキャリブレーションを行うことができます。カラーキャリブレーションに必要なハードウェア機器は、Calman の提案に従って別途購入する必要があります。
	Display-P3	
	DCI-P3	
	DCI-P3 (D50)	
	Adobe RGB	
	Adobe RGB (D50)	
	Rec. 2020	
	Rec. 709	
	Custom Mode	
HDR Color Space (HDR 色空間)	DCI-P3	HDR 色空間を調整します。 注: CMR DCI-P3 および CMR Rec.2020 の場合、この機能は、Portrait が開発した Calman ツール (PC ソフトウェア) を使用してマシンの色空間を調整した後にのみオプションになります。 この製品は、Calman カラーキャリブレーションソフトウェアを使用してカラーキャリブレーションを行うことができます。カラーキャリブレーションに必要なハードウェア機器は、Calman の提案に従って別途購入する必要があります。
	Rec. 2020	
	CMR DCI-P3	
	CMR Rec. 2020	
DCR	Off (オフ)	ダイナミック・コントラスト機能を停止します。
	On (オン)	ダイナミック・コントラスト機能を起動します。
Local Dimming	Off (オフ) / On (オン)	ローカルディミングを無効または有効にします。 注: ローカルディミングは SDR 信号では無効になり、HDR 信号ではデフォルトで無効になります。
Clear Vision	Off (オフ)	調整 Clear Vision.
	Weak (弱)	
	Medium (中)	
	Strong (強)	

LowBlue Mode (ローブルーモード)	Off(オフ)	色温度を調整し、ブルーライトの波長を下げます。
	Multimedia (マルチメディア)	
	Internet (インターネット)	
	Office (オフィス)	
	Reading(読書)	
Image Ratio (画像比)	Full (フル) / Aspect (アスペクト) / 1:1	注： 1) デフォルトでは全画面表示になっており、任意の表示モードを選択できます。 2) メイン周波数以外の画面比率とパネル画面と同じ比率の表示モードを選択できます。 3) メイン周波数を除くすべての表示モードは 1:1 の比率で選択できます。
Over Scan (オーバースキャン)	Off(オフ) / On(オン)	スキャンを無効にするか有効にします。
Shadow Boost (シャドーブースト)	Off(オフ) / Level 10 / Level 20 / Level 30	E 暗い、または明るい領域で画面の細部を強調することで、明るい領域の輝度を調整して、過飽和を防ぎます。
Shadow Control (シャドウコントロール)	0-100	シャドウコントロールの既定は 50 です。エンドユーザーは 0~100 で調整し、コントラストを増やし、画面を見やすくできます。 1. 映像が暗すぎて細部が見えない場合、50~100 で調整するとはっきりします。 2. 映像が明るすぎて細部が見えない場合、50~0 で調整するとはっきり見えます。
Game Color (ゲームカラー)	0~20	ゲームカラーは、より良い画像を得るために彩度を調整するための 0 ~ 20 レベルを提供します
Adaptive-Sync	Off(オフ) / On(オン)	Adaptive-Sync を有効化または無効化します。 Adaptive-Sync 実行リマインダー：Adaptive-Sync 機能を有効にすると、一部のゲーム環境でフラッシュが発生することがあります。
Overdrive (オーバードライブ)	Off(オフ)	反応時間を調整します
	Weak (弱)	
	Medium (中)	
	Strong (強)	

注：ローカルディミング機能が有効になっている場合、フォトディフュージョン効果のため、一部の特定の画面のウィンドウマージン、または移動するもののマージンにハロー効果が現れることがあります。これは、ミニ LED パネルの物理的特性であり、パネルの故障ではありません。使用を継続できますので、ご安心ください。

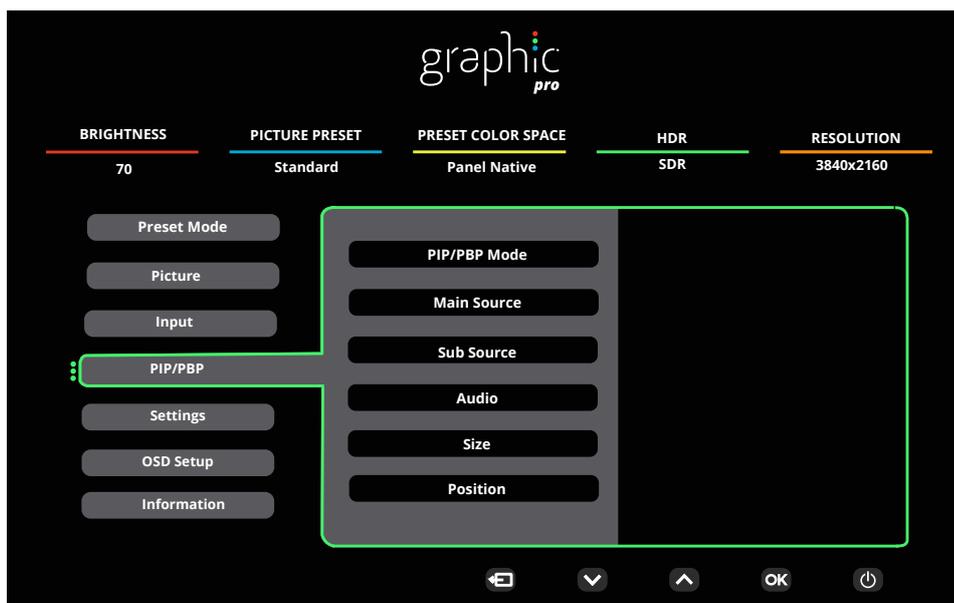
Input (入力)



Auto Source (自動ソース)	Off (オフ) / On (オン)	自動ソースを無効 / 有効にします
HDMI 1		入力信号ソースを選択します。
HDMI 2		
DisplayPort		
USB C		

注：
自動ソースを有効にしておくことをお勧めします。

PIP/PBP



PIP / PBP Mode (PIP/PBP モード)	Off (オフ) / PIP / PBP	PIP または PBP の無効または有効を切り替えます。
Main Source (メインソース)	HDMI1 / HDMI2 / DisplayPort / USB C	メインの画面ソースを選択します。
Sub Source (サブソース)	HDMI1 / HDMI2 / DisplayPort / USB C	サブ画面のソースを選択します。
Audio(音声)	Main Source/Sub Source	オーディオセットアップの無効または有効を切り替えます。
Size(サイズ)	Small(小) / Middle(中) / Large(大)	画面サイズを選択します。
Position(位置)	Right-up(右上)	画面位置を設定します。
	Right-down(右下)	
	Left-up(左上)	
	Left-down(左下)	
Swap(交換)	はい/いいえ	画面ソースを交換します。

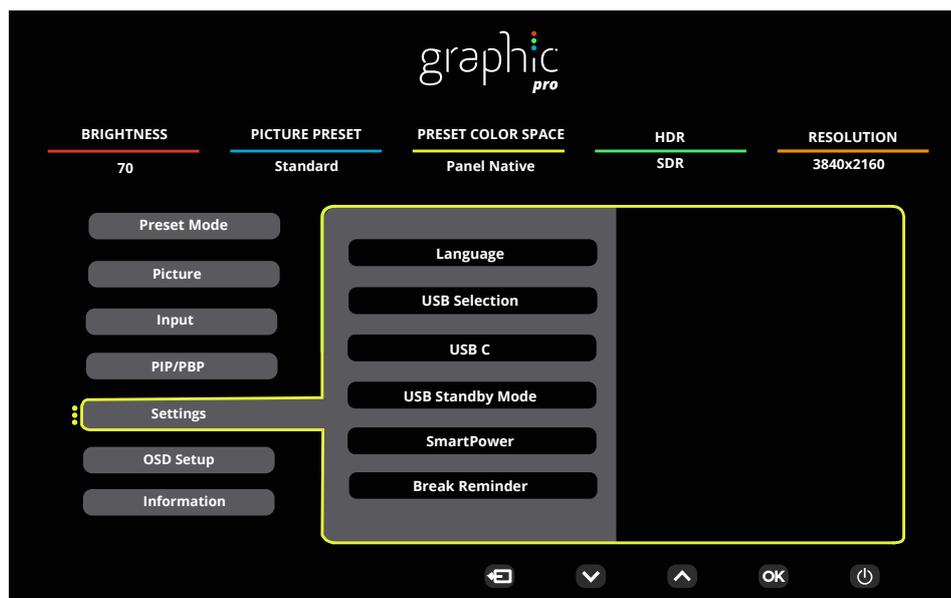
注：

- 「Preset Mode (プリセットモード)」の下の「HDR」を「非オフ」に設定すると、「PIP、PBP」の下のすべての項目を調整できません。
- PIP/PBP が有効になっている場合、OSD メニューの一部の色関連の調整はメイン画面に対してのみ有効であり、サブ画面はサポートされません。そのため、メイン画面とサブ画面の色が異なる場合があります。
- PBP/PIP がオンの場合、メイン / サブの対応入力ソースは：

PIP		Sub source (サブソース)			
		HDMI1	HDMI2	DisplayPort	USB C
Main source (メインソース)	HDMI1	✓	✓	✓	✓
	HDMI2	✓	✓	✓	✓
	DisplayPort	✓	✓	✓	✓
	USB C	✓	✓	✓	✓

PBP		Sub source (サブソース)			
		HDMI1	HDMI2	DisplayPort	USB C
Main source (メインソース)	HDMI1	✓	✓	✓	✓
	HDMI2	✓	✓	✓	✓
	DisplayPort	✓	✓	✓	✓
	USB C	✓	✓	✓	✓

Settings(設定)



Language (言語)	English/Français/Español/ Português/Deutsch/Italiano/ Nederlands/Svenska/Suomi/ Polski/Čeština/Русский/ 한국어 /Türkçe/Українська/ 繁 體中文 / 简体中文 / 日 本語	OSD 言語を選択します。
USB Selection (USB の選択)	Auto / USB C1 / USB C2	USB アップストリームデータパスを選択します。
USB C	High Data Speed (高速デー タ)/High Resolution(高解像 度)	USB コネクタのデータ伝送優先または解像度優先を設定し ます。
USB Standby Mode (USB スタンバイ・ モード)	Off (オフ) / On (オン)	USB スタンバイモードのオン / オフを切り替えます。
SmartPower (スマート電源)	Off (オフ) / On (オン)	スマート電源をオフまたはオンにします。
Break Reminder (休憩リマインダー)	Off (オフ) / On (オン)	ユーザーが 1 時間以上続けて作業する場合、休止のお知らせ。
Off Timer (オフタイマー)	0 - 24 時間	オフタイマーの時間を設定。
DDC/CI	はい / いいえ	DDC/CI サポート機能の OK。
Volume (音量)	0-100	音量調節。
Mute (消音)	Off (オフ) / On (オン)	音量を消音します。
Resolution Notice (解像度通知)	Off (オフ) / On (オン)	解像度通知をオンまたはオフにします。
Reset (リセット)	いいえ / ENERGY STAR®	リセットメニューは既定値。

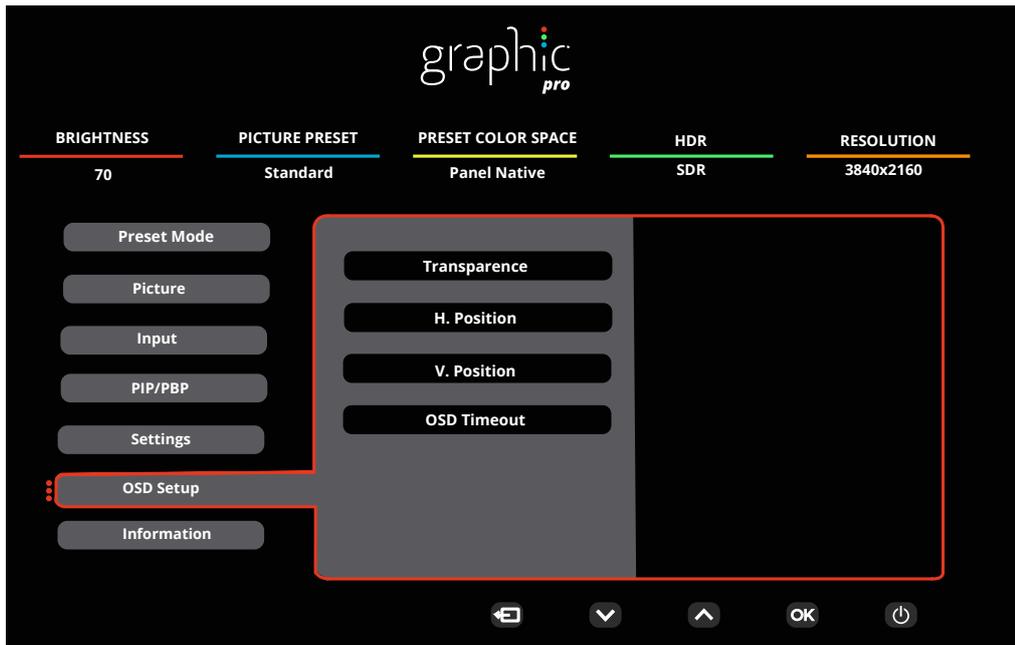
注：

USB C1 の異なるプロファイル表：

Smart Power (スマート電源)	OSD Setting (OSD 設定)	USB C1 PD profile	USB-Hub	Brightness (明るさ)
On (HDR On / SDR On)	No OSD Smart power Auto	65W	FULL function	0~100
On (SDR On)	No OSD Smart power Auto	96W	USB<10W	0~100

Off (HDR Off)	Smart Power Off	65W	USB<10W	0~100
------------------	-----------------	-----	---------	-------

OSD Setup (OSD 設定)



Transparence (透明度)	0-100	OSD の透明度を調整します。
H. Position (水平位置)	0-100	OSD の水平位置を調整します。
V. Position (垂直位置)	0-100	OSD の垂直位置を調整します。
OSD Timeout (OSD 表示時間設定)	5-120	OSD 表示時間設定を調整します。

Information(情報)

graphic pro

BRIGHTNESS 70 **PICTURE PRESET** Standard **PRESET COLOR SPACE** Panel Native **HDR** SDR **RESOLUTION** 3840x2160

Information

Input	HDMI2	SN	XXXXXXXXXXXX
Resolution	3840x2160@60Hz	FW Version	Vxxx
Brightness	70	HDR	SDR
Color Space	Panel Native	Firmware Date	xxxxxxx
Gamma	2.2	HBR2/HBR3	NA
White Point	6500K	Sync	NA

Navigation icons: Home, Down, Up, OK, Power

LED インジケータ

状態	LED 色
フルパワーモード	白
省電力	オレンジ色

トラブルシューティング

問題&質問	回答
電源 LED がオンにならない	電源ボタンがオンになっており、電源コードがアースされたコンセントとモニターに適切に接続されているか確認してください。
画面に画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードは適切に接続されていますか？ 電源コードの接続と電源装置を確認してください。 ●ケーブルは正しく接続されていますか？ (HDMI ケーブルを使用して接続済み) HDMI ケーブル接続を確認します。 (DP ケーブルを使用して接続) DP ケーブルの接続を確認してください。 * HDMI/DP 入力はすべてのモデルで利用できません。 ●電源がオンになっている場合、コンピュータを再起動して表示される最初の画面（ログイン画面）を確認してください。 最初の画面（ログイン画面）が表示されたら、適切なモード（Windows 7/8/10 の場合はセーフモード）でコンピュータを起動し、ビデオカードの周波数を変更します。 （「最適解像度の設定」を参照してください） 初期画面（ログイン画面）が表示されない場合、サービスセンターまたは販売店にお問い合わせください。 ●画面に「入力がサポートされていません」が表示されていますか？ このメッセージは、ビデオカードからの信号がモニターで適切に処理できる最大解像度と周波数を超えているときに表示されます。 モニターが適切に処理できる最大解像度と周波数に調整してください。 ● AOC モニタードライバがインストールされていることを確認してください。
画像がぼやけており、ゴーストシャドウの問題がある。	<p>コントラストと明るさの設定を調整してください。</p> <p>押すと、自動調整されます。</p> <p>延長ケーブルやスイッチボックスを使用していないことを確認してください。モニターを背面のビデオカード出力コネクタに直接差し込むことを推奨します。</p>
写真が上下に揺れる、ちらつく、写真に波形パターンが表示される	<p>モニターに電氣的に干渉している可能性のある電気機器をモニターからできるだけ遠ざけます。</p> <p>使用している解像度でモニターに可能な最大リフレッシュレートを使用してください。</p>
モニターがアクティブオフモードから出られない	<p>コンピュータの電源スイッチは、オンの位置になければなりません。</p> <p>コンピュータのビデオカードは、スロットにぴったりとフィットする必要があります。</p> <p>モニターのビデオケーブルがコンピュータに適切に接続されているか確認します。</p> <p>モニターのビデオカードを検査し、曲がっているピンがないことを確認してください。</p> <p>キーボードの CAPS LOCK キーを押してコンピュータが操作できることを確認したら、CAPS LOCK の LED を確認してください。CAPS LOCK キーを押した後、LED はオンまたはオフになる必要があります。</p>
原色（赤、緑、青）の1つが欠けている	モニターのビデオカードを検査し、損傷しているピンがないか確認してください。モニターのビデオケーブルがコンピュータに適切に接続されているか確認します。
画像の色に欠陥がある（白が白く見えない）	RGB カラーを調整するか、必要な色温度を選択してください。
画面が水平または垂直に乱れる	Windows 7/8/10/11 停止モードを使用して、クロックと位相を調整してください。押すと、自動調整されます。

規制およびサービス	CD マニュアルまたは www.aoc.com の規制およびサービス情報を参照してください（お住まいの国の購入したモデルを検索し、サポートページで規制およびサービス情報を検索してください）。
-----------	--

仕様

一般仕様

パネル	モデル名	U32U3CV		
	ドライビングシステム	TFT カラー LCD		
	表示可能画像サイズ	80.0 cm 対角		
	画素ピッチ	0.18159mm(横) x 0.18159mm(縦)		
	ビデオ	HDMI インターフェイス、DP インターフェイス		
	個別同期	H/V TTL		
	表示色	1.07B ^[1]		
その他	水平スキャン範囲	30k~140kHz		
	水平スキャンサイズ(最大)	697.3mm		
	垂直スキャン範囲	23~75Hz		
	垂直スキャンサイズ(最大)	392.2mm		
	最適プリセット解像度	3840x2160@60Hz		
	最大解像度	3840x2160@60Hz ^[2]		
	プラグアンドプレイ	VESA DDC2B/CI		
	電源	100-240V~, 50/60Hz, 3.0A		
	電力消費	標準(デフォルトの明るさとコントラスト)	46W	
		最大(明るさ = 100、コントラスト = 100)	≤ 215W	
スタンバイモード		≤ 0.3W		
物理的特性	接続タイプ	HDMIx2, DisplayPort, RJ-45, イヤホン, USB C1: ビデオ, PD 96W USB C2: アップストリーム USB C(Side): 最大 15W の電源 USB-Ax4 (側面, 充電)		
	信号ケーブルの種類	取り外し可能		
	内蔵スピーカー	3Wx2		
環境	温度	操作時	0° C ~ 40° C	
		非操作時	-25° ~ 55°	
	湿度	操作時	10% ~ 85% (非結露)	
		非操作時	5% ~ 93% (非結露)	
	高度	操作時	0m ~ 5,000m (0 フィート ~ 499,993.92 フィート)	
		非操作時	0m ~ 12192m (0 フィート ~ 40000 フィート)	



[1] : 本製品のディスプレイは最大で10億7000万色をサポートします。設定条件は以下のとおりです(一部のグラフィックカードでは、出力制限により違いが生じることがあります) (「V」: サポート、「\」: 非サポート) :

信号バージョン カラーフォーマット 状態 カラービット	HDMI2.0		DP1.4		USB C / USB High Data Speed		USB C / USB High-res	
	YCbCr420 YCbCr422	YCbCr444 RGB	YCbCr420 YCbCr422	YCbCr444 RGB	YCbCr420 YCbCr422	YCbCr444 RGB	YCbCr420 YCbCr422	YCbCr444 RGB
UHD 60Hz 10 bpc	V	\	V	V	V	\	V	V

UHD 60Hz 8 bpc	V	V	V	V	V	V	V	V
QHD 60Hz 10 bpc	V	V	V	V	V	V	V	V
QHD 60Hz 8 bpc	V	V	V	V	V	V	\	V

注：8bit+YCbCr422 以降の Windows オペレーティングシステムでは HDR はサポートされません。

[2]：注：高速データモードでは、3840x2160@60Hz+10bit+YCbCr444 はサポートされません。

プリセットディスプレイモード

標準	解像度 (± 1Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
DOS MODE	720x400@70Hz	31.469	70.087
VGA	640x480@60Hz	31.469	59.94
	640x480@67Hz	35	66.667
	640x480@72Hz	37.861	72.809
	640x480@75Hz	37.5	75
SVGA	800x600@56Hz	35.156	56.25
	800x600@60Hz	37.879	60.317
	800x600@72Hz	48.077	72.188
	800x600@75Hz	46.875	75
MAC MODES	832x624@75Hz	49.725	74.551
XGA	1024x768@60Hz	48.363	60.004
	1024x768@70Hz	56.476	70.069
	1024x768@75Hz	60.023	75.029
SXGA	1280x1024@60Hz	63.981	60.02
	1280x1024@75Hz	79.976	75.025
WXGA+	1440x900@60Hz	55.935	59.887
	1440x900@60Hz	55.469	59.901
WSXGA	1680x1050@60Hz	65.29	59.954
	1680x1050@60Hz	64.674	59.883
FHD	1920x1080@60Hz	67.5	60
QHD	2560x1440@60Hz	88.787	59.951
PBP Mode	1920x2160@60Hz	133.293	59.988
UHD	3840x2160@30Hz	67.5	30
	3840x2160@60Hz	135	60

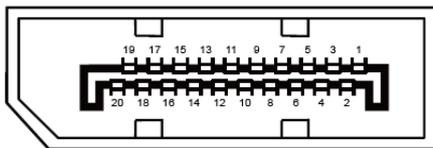
注意: VESA 規格によると、さまざまなオペレーティングシステムやグラフィックスカードのリフレッシュレート (フィールド周波数) を計算する際に、特定の誤差 (+/-1Hz) が生じる場合があります。互換性を向上させるために、この製品の公称リフレッシュレートは四捨五入されています。実際の製品を参照してください。

ピン割り当て



19 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	TMDS データ 2+	9.	TMDS データ 0-	17.	DDC/CEC アース
2.	TMDS データ 2 シールド	10.	TMDS クロック +	18.	+5V 電力
3.	TMDS データ 2-	11.	TMDS クロックシールド	19.	ホットプラグ検出
4.	TMDS データ 1+	12.	TMDS クロック -		
5.	TMDS データ 1 シールド	13.	CEC		
6.	TMDS データ 1-	14.	予約済み (デバイス上に N.C.)		
7.	TMDS データ 0+	15.	SCL		
8.	TMDS データ 0 シールド	16.	SDA		



20 ピンカラーディスプレイ信号ケーブル

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	ML_Lane 3 (n)	11	アース
2	アース	12	ML_Lane 0 (p)
3	ML_Lane 3 (p)	13	CONFIG1
4	ML_Lane 2 (n)	14	CONFIG2
5	アース	15	AUX_CH(p)
6	ML_Lane 2 (p)	16	アース
7	ML_Lane 1 (n)	17	AUX_CH(n)
8	アース	18	ホットプラグ検出
9	ML_Lane 1 (p)	19	リターン DP_PWR
10	ML_Lane 0 (n)	20	DP_PWR

プラグアンドプレイ

プラグアンドプレイ DDC2B 機能

このモニターには、VESA DDC STANDARD に準拠した VESA DDC2B 機能が装備されています。これにより、モニターはホストシステムにその ID を通知し、また使用されている DDC のレベルによっては、その表示機能について追加情報を伝えることもできます。

DDC2B は、I2C プロトコルに基づく双方向データチャンネルです。ホストは DDC2B チャンネル経由で EDID 情報を要求できます。

HDMI[®]

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE